

患者の皆様へ

2017年5月24日
救急科・集中治療部

現在、救急科・集中治療部では、急性膵炎患者に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では急性膵炎の患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「急性膵炎の前向き多施設観察研究」

2. 研究の意義・目的

「千葉大学医学部附属病院を含め国内の約40の施設で急性膵炎の短期及び長期の予後や、各治療が予後に与える影響を前向きに評価します。」

3. 研究の方法

2017年1月1日より2021年12月31日の間に急性膵炎の治療を行った患者さんの診療録、検査データ、画像データを電子カルテより閲覧させていただきます。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 外部への試料・情報の提供

慶應義塾大学病院が主たる機関であり、匿名化されたデータをインターネット上の専用情報システムに登録します。

6. 研究組織

慶應義塾大学病院（責任者：金井隆典）、自治医科大学附属さいたま医療センター（責任者：讃井将満）、産業医科大学病院（責任者：真弓俊彦）を含めた約40施設です。参加施設の詳細は <http://www.keio-med.jp/gastro/pancreatitis-cohort/post-5.html> をご参照ください。既存情報を扱うのは本研究グループに所属する研究者に限定します。

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて
掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 救急科・集中治療部

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院 救急科・集中治療部

医師 織田 成人、 大島 拓

043 (222) 7171 内線6532